

| 海外語学研修<br>(Foreign language study abroad programs) |        |      |     |     | 担当教員 |
|----------------------------------------------------|--------|------|-----|-----|------|
|                                                    |        |      |     |     |      |
| 科目群                                                | 開講期    | 授業形態 | 単位数 | 必修等 |      |
| 外国語                                                | 2年次 通年 |      | 3単位 | 自由  |      |

#### 【概要】

8月初旬から下旬までの約一月間、ドイツのフライブルク大学が主催する語学講座である夏大学（2016年サマープログラムから改称）を受講する。フライブルク大学の夏大学ではドイツ語コースと英語コースが開講されている。ドイツ語コースは初級から上級まで習熟度別にクラス分けがなされている。授業内容は受講者を飽きさせない会話練習とディスカッション、最新の機材による聞き取りや読解練習、興味に応じて選択可能なテーマに基づく現代的かつ実用的な文法の演習である。英語コースはドイツの大学へ正規入学が認められるレベルの英語力修得を目標としているため、参加申し込みにはTOEIC550点以上のスコアを保持していることが必須条件である。授業内容は英語圏出身の講師が最新の教材やトピックを使って文法や会話を練習するもので、目標は読解スキルやプレゼンテーションスキルを身に着けることである。平日は朝9時15分から12時45分までの3時間半（休憩も含む）の語学の授業が行われる。午後は歴史や文化、映画、環境などをテーマとするセミナーがドイツ語あるいは英語で実施される。またレクリエーションプログラムでは、フライブルク大学の学生チューターが企画する市内散策、ゲーム、料理、美術館や博物館見学、近郊への遠足などが毎日開催され、ドイツ文化に触れる機会が提供されている。夏大学では本学独自の企画としてフライブルク大学医学部付属病院の薬剤部や市内の薬局見学、薬学部の研究棟見学を実施、ドイツの薬学事情を学べる貴重な機会が設けられている。夏大学の最終授業で受講者全員が1ヶ月の語学学習の成果を発表することが義務付けられている。授業出席率と修了試験の結果に基づき各受講者の成績評価が下され、修了証書にその評価が記載されることになっている。

#### 【授業の一般目標】

ドイツ語の授業は習熟度別にクラス分けがなされているので、クラス毎に授業内容に違いがあるが、いずれのクラスでも基本的に「話す」「聞く」ことに重点が置かれ、受講者が簡単なドイツ語で現地の人々とコミュニケーションをとれるようになることが共通目標である。英語の授業ではドイツの大学へ正規入学が認められるレベルの英語力の習得が目標である。午後のセミナーやレクリエーションでは書籍や授業では学ぶことができないドイツ人の日常生活やドイツあるいは近隣の国々の事情を見聞することが主たる目標である。学生寮では多くの外国人留学生と生活を共にすることから、異文化コミュニケーション能力の向上や多様性の理解に努めることも重要な目標である。

#### 【準備学習(予習・復習)】

ガイダンスは毎年2回行っているので、参加希望者は必ずガイダンスに出席すること。また参加決定者は留学の心構え研修や危機管理研修など事前・事後研修（計4回）への参加が必須である。